困ったときの知恵袋

No.088

【相談】

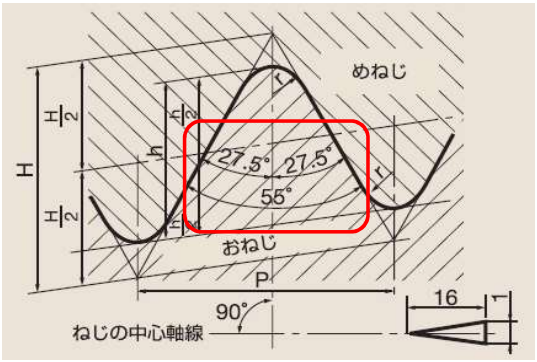
アメリカ向けの輸出部品のようですが、
「NPT 3/8」のめねじ加工の仕事を請け負いました。
いつも使っている「PT 3/8」のタップが手元にあるのですが、
このタップを使用することはできますか？

【回答】

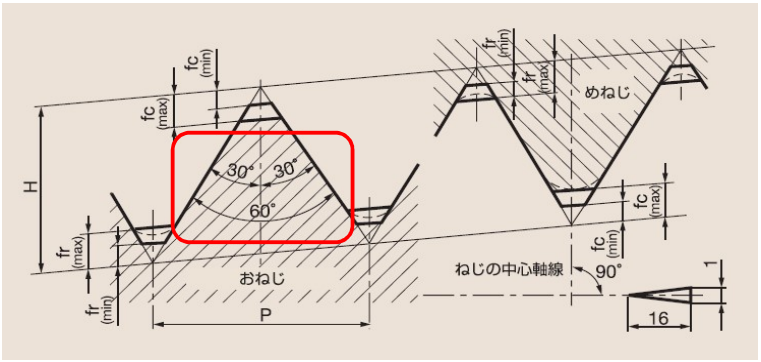
「NPT 3/8」はアメリカ管用テーパねじで、日本で良く使われる
管用テーパねじ「PT 3/8」とは違うので代用はできません。
大きくは、ねじ山の角度と山数（ピッチ）が違ってきます。
「NPT」と「PT」の違いについて説明しますね。

【説明】

■ 管用テーパねじ（PT）



■ アメリカ管用テーパねじ（NPT）



ねじ山の角度が、PT は「５５°」・NPT は「６０°」と違っているのが分かるかな

【アドバイス】

実際に、管用テーパねじ用ハンドタップ「PT 3/8」と
アメリカ管用テーパねじ用ハンドタップ「NPT 3/8」を比較してみましょう。

単位mm

呼び	山数（ピッチ）	等級	外径の基準寸法（mm）	全長（L）	ねじ長（ℓ）	基準径の位置（ℓg）	シャンク径（Ds）
PT 3/8	19	II	16.662	65	28	21	14
NPT 3/8	18	ANSIG	16.866	65	28	17.65	14

タップの全長・ねじ長・シャンク径は同じになっていますが、
山数（ピッチ）・等級・外径の基準寸法・基準径の位置 は違っています。
よって、この二つのタップは共有できません。